

市議会

令和3年
(2021年)

8

第158号

だより



表紙：清閑亭

目次

議長・副議長・監査委員の選出	2
4月臨時会・5月臨時会の概要等	3
常任委員会等の構成	4
6月定例会の議案から	6
常任委員会の審査概要	8
一般質問	10
6月定例会の賛否一覧・陳情の採決結果	15
議会トピックス・9月定例会の予定	16

市議会の詳細は、
小田原市議会HPへ



<https://www.city.odawara.kanagawa.jp/citycouncil/>

 小田原市議会

大川 裕 議長、木村 正彦 副議長を選出

議会選出監査委員に 篠原 弘 議員

就任のごあいさつ
「シン・ギカイ」に向けて



大川 裕
第64代 議長



木村 正彦
第73代 副議長

市民の皆さまには、日ごろから小田原市議会に対し、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また新型コロナウイルス感染症の対応に最前線でご尽力いただいている医療従事者をはじめ、感染拡大防止にご協力いただいている市民・関係者の方々に、敬意を表します。

私たちは、このたびの令和3年5月臨時会におきまして、議員各位のご推挙に

より、小田原市議会の議長、副議長に就任いたしました。歴史と伝統ある小田原市議会を築き上げてこられました諸先輩議員の「思い」も踏まえながら、議長、副議長の職にある者として、公平・公正・中立を旨としつつ、時代に即した効率的な議会運営に向けて、「シン・ギカイ」をキーワードに掲げ、ブラッシュアップを図ってまいりたいと考えております。

キーワードは
「シン・ギカイ」

近年の特撮映画やアニメなどにおいては、「シン・○○○」といったように題名に「シン」を冠した作品が多く見られますが、議会もまさしくこれから「シン・ギカイ」という形をとっていかねばならない時代が来ていると思っております。

カタカナの「シン」の意味するところ

このカタカナの「シン」の文字には、見る人の解釈の仕方でさまざまな意味や思いを持たせることができます。パソコンに「シン」と打ち込むと、**新、進、信**、**親**……と、実にたくさん文字が出てきます。

深 親 辛
新 信 審 進
芯 伸 真

時代の転換期にあつて
それぞれが抱く「シン」

世界的に猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症により、私たちは意識や価値観の変化を余儀なくされており、社会のデジタル化の加速など、「ニューノーマル（新常态）」の時代にあると言われております。

本市でも、令和4年度からスタートする新たな総合計画の策定作業を進めているところであり、まさに「転換期」と言えます。

そのような中、議員一人一人が、それぞれの「シン」を胸に、議会活動を行っていくことが、より良い議会につながるものと考えるところです。

新しく、**進**んだ、**信**頼され、**親**しみのある議会、そんな「**シン・ギカイ**」を指していきたいと、決意の一端を申し上げます、就任のあいさついたします。

議会選出監査委員



篠原 弘
監査委員

市の財務に関する事務の執行および経営に係る事業の管理が適正に行われているかを監査するため、本市には3名の監査委員がおり、そのうちの1名を市議会議員から選出しています。

今回新たに、篠原弘議員が、議会選出の監査委員として選出されました。

5月臨時会

交通事故等の損害賠償の専決処分の報告が3件、令和2年度会計予算のうち、継続事業や年度内での完成が困難となったなどの理由により、翌年度に予算繰越を行ったものについての、繰越計算書の報告が9件ありました。

また小田原市新病院建設調査特別委員会の中間報告も行われました。

*詳細な内容については、ホームページを御覧ください。



繰越計算書の報告等



特別委員会の中間報告

定例会と臨時会

小田原市議会の定例会は、毎年3月、6月、9月および12月に開くことが定められており、それ以外に、必要がある場合、その案件に限り招集されるのが臨時会です。

その他の議案等は
こちらから。



4月臨時会

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得のひとり親世帯に対し、生活支援の観点から、児童一人につき5万円を支給するため、4月16日に臨時会を開催、厚生文教常任委員会で審査を行った。

※ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯への給付金の給付事業については、6月定例会に補正予算（1億5845万円）が上程され、可決した。

低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（ひとり親世帯分）
補正予算を可決
1億2335万5千円

厚生文教常任委員会
における質疑

問

給付対象者は、4月分の児童扶養手当の支給を受けている方が主のことだが、それ以外の要件に合致する方に、どう周知を行うのか。

答

昨年度の「ひとり親世帯」への臨時特別給付金の対象者には案内を送付する。また、ホームページへの掲載のほか、市の福祉健康部や社会福祉協議会の窓口等にチラシを設置する。

会派の構成

会派の構成が次のとおり変わりました。(代表者以外は、当選回数順) (令和3年5月24日現在)

会派名 (届出順)	議員構成		控室電話番号
	代表者	構成員	
日本共産党	田中 利恵子	横田 英司、岩田 泰明	33-1789
新生クラブ	俵 鋼太郎	清水 隆男、小谷 英次郎	33-1784
公明党	奥山 孝二郎	楊 隆子、荒井 信一、金崎 達	33-1786
誠風	加藤 仁司	井上 昌彦、大川 裕、篠原 弘 鈴木 和宏、神戸 秀典、池田 彩乃 宮原 元紀	33-1782・1783
志民・維新の会	安野 裕子	武松 忠、鈴木 美伸、杉山 三郎 鈴木 敦子	33-1780・1785
緑風会	鈴木 紀雄	木村 正彦、川久保 昌彦、角田 真美	33-1787

*小田原市議会における「会派」とは、所属政党や政策を同じくする議員のグループ（3名以上）のことをいいます。

常任委員会の構成 (委員の並び順は議席番号順)

本会議で審議される議案等は、テーマが多岐にわたるため、効率的な議事運営のために、分野ごとに常任委員会を設置し、詳細な審査を行っております。

本市議会では、4つの常任委員会を設置しており、議員は議会広報広聴常任委員会を除く常任委員会のうち、いずれか一つの常任委員会に所属しています。

5月臨時会で、新たな委員構成になりましたので、ご紹介いたします。

総務 常任委員会

議会事務局、企画部、総務部、市民部、防災部、環境部、消防本部、監査事務局の所管に属する事項および他の委員会の所管に属しない事項



委員長

すずき よしのぶ
鈴木 美伸
(志民・維新の会)



副委員長

いけだ あやの
池田 彩乃
(誠風)



すずき あつこ
鈴木 敦子
(志民・維新の会)



すずき かずひろ
鈴木 和宏
(誠風)



きむら まさひこ
木村 正彦
(緑風会)



よう たかこ
楊 隆子
(公明党)



しのはら ひろし
篠原 弘
(誠風)



こだに えいじろう
小谷 英次郎
(新生クラブ)



いわた やすあき
岩田 泰明
(日本共産党)

厚生文教 常任委員会

文化部、福祉健康部、子ども青少年部、市立病院および教育委員会の所管に属する事項



委員長

つすい こうたろう
俵 鋼太郎
(新生クラブ)



副委員長

かなざき とおる
金崎 達
(公明党)



やすの ゆうこ
安野 裕子
(志民・維新の会)



かわくぼ まさひこ
川久保 昌彦
(緑風会)



つのだ まみ
角田 真美
(緑風会)



みやはら げんき
宮原 元紀
(誠風)



かとう ひとし
加藤 仁司
(誠風)



たけまつ ただし
武松 忠
(志民・維新の会)



たなか りえこ
田中 利恵子
(日本共産党)

建設経済 常任委員会

公営事業部、経済部、都市部、建設部、上下水道局および農業委員会事務局の所管に属する事項



委員長

かんべ ひでのり
神戸 秀典
(誠風)



副委員長

しみず たかお
清水 隆男
(新生クラブ)



あらい のぶひろ
荒井 信一
(公明党)



おおかわ たかひさ
大川 裕
(誠風)



すぎやま さぶろう
杉山 三郎
(志民・維新の会)



すずき のりお
鈴木 紀雄
(緑風会)



おくやま こうじろう
奥山 孝二郎
(公明党)



いのうえ まさひこ
井上 昌彦
(誠風)



よこた えいじ
横田 英司
(日本共産党)

議会広報広聴 常任委員会

議会の広報および広聴に関する事項

委員長

井上 昌彦 (誠風)

鈴木 敦子 (志民・維新の会)

池田 彩乃 (誠風)

岩田 泰明 (日本共産党)

副委員長

角田 真美 (緑風会)

荒井 信一 (公明党)

清水 隆男 (新生クラブ)

その他の委員会の構成 (委員の並び順は議席番号順)

議会運営 委員会

議会の運営や議長の諮問に関する事項

委員長

楊 隆子 (公明党)

鈴木 紀雄 (緑風会)

武松 忠 (志民・維新の会)

田中 利恵子 (日本共産党)

副委員長

宮原 元紀 (誠風)

神戸 秀典 (誠風)

小谷 英次郎 (新生クラブ)

小田原市 新病院建設調査 特別委員会

新病院の建設・調査に関する事項

委員長

鈴木 和宏 (誠風)

宮原 元紀 (誠風)

楊 隆子 (公明党)

横田 英司 (日本共産党)

副委員長

川久保 昌彦 (緑風会)

杉山 三郎 (志民・維新の会)

小谷 英次郎 (新生クラブ)

6月定例会の議案から

6月定例会では、令和3年度補正予算および条例議案を可決しました。ここでは市内の空き家・空き店舗に係る議案についてご紹介します。



議案一覧

空き店舗等利活用促進事業費補助金

小田原駅周辺地区において、起業者が出店する際の受け皿となり得る物件を増やし、魅力的な店舗の集積を図ることで、商店街の賑わい創出を目指す。

設備の老朽化等を理由に貸し出されていない空き店舗・空き家・空き事務所の所有者に対し、店舗として貸し出すための修繕費用の一部を補助する。

併せて、早期に顧客を獲得し、経営安定が図られるよう、出店者に対し、開業当初に必要な広告宣伝費の一部を補助する。
 なお、財源として、国の補助金（補助率2分の1）を活用する。

予算額550万円
 〈内訳〉

所有者100万円×5件
 出店者10万円 ×5件



詳細な資料はこちら
 (建設経済常任委員会資料)



〔所有者への補助〕

- 対象経費
- ・店舗や事務所と居住部分を分ける工事
 - ・店舗内部の解体、補修
 - ・トイレの洋式化
 - ・給排水管の入れ替え、補修
 - ・雨漏りの補修

補助率

対象経費の3分の2
 (上限100万円)

交付条件

- ・10年間の物件提供
- ・市HP等に補助金活用物件としての公表に同意

〔出店者への補助〕

- 対象経費
- ・チラシ作成
 - ・タウン紙等掲載
 - ・HP開設
 - ・SNS広告

補助率

対象経費の2分の1
 (上限10万円)

交付条件

- ・近隣商店会等への加入



新計画策定に向け、空家等実態調査を委託

空き家化の予防、空き家等の流通・利活用と適正管理の促進を基本方針とする小田原市空家等対策計画の計画期間が令和4年度で終了する。

引き続き、この問題に対処するため、委託により、市内の空き家の実態を調査し、次期空家等対策計画策定の基礎資料とする。

実態調査では、市が保有している空き家等のデータベースや水道休止情報等により、調査対象リストを作成した後、現地調査や所有者等の特定を行う。また所有者等へのアンケート調査も実施する。

なお、財源として、国の補助金（補助率2分の1）を活用する。

スケジュール (予定)

令和3年						令和4年		
7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業者選定								
	調査対象リストの作成							
		現地調査等・所有者等の特定						
					アンケート調査			
						成果物の作成		

詳細な資料はこちら
 (総務常任委員会資料)



請願書(陳情書)における押印が不要になりました!

行政手続等において求めてきた押印の原則廃止を広く推進している政府の方針を踏まえ、行政手続における市民等の負担の軽減、利便性の向上を図るため、請願書の押印要件を見直しました。

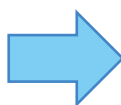
これに伴い陳情書も同様の扱いになります。

(小田原市議会会議規則の一部を改正する規則 令和3年6月22日の本会議で可決)

見直し前

邦文を用いて次の事項を記載し、**押印が必要。**

- ・ 請願の趣旨
- ・ 提出年月日
- ・ 請願者の住所および氏名
(法人の場合にはその名称および所在地)



見直し後

邦文を用いて次の事項を記載し、**請願者(法人の場合には代表者)が署名(※1)すれば押印は不要**(記名押印※2も可)。

- ・ 請願の趣旨
- ・ 提出年月日
- ・ 請願者の住所
(法人の場合にはその名称および所在地)

※1 署名：自己の氏名を自署すること

※2 記名押印：印刷等、自署以外の方法で氏名を記し押印すること

小学生が授業で議場を見学!

5月11日(火)、足柄小学校の6年生80人が社会科の授業の一環で議場見学を訪れました。

新型コロナウイルス感染症予防に配慮しながら議長室や傍聴席を見学するとともに、議場では、実際に、市長や議員の席に座り、市議会の仕組みや制度の説明を受けた後に、議員席から市政や議会に関する質問を行いました。

「議員の仕事は、議会が開かれていないときにはどんなものがあるのか」、「税金はどんなことに使われているのか」、「なぜ18歳から選挙ができるようになったのか」などの質問が寄せられ、議会に対して興味や関心を持っていただくとともに理解を深めていただく機会となりました。



児童から積極的に質問がありました

次の意見書を

国等に提出しました



豊かな学びの実現に向けたさらなる教職員定数改善と令和4年度政府予算に係る意見書(要旨)

さまざまな教育課題への対応のためには、さらなる加配教員の充実等が必要であり、国においては次の措置を講じられるよう強く要望する。

- 1 小学校の35人学級を計画的に進め、中学校・高等学校での35人学級編制の標準を早急に策定すること。また30人学級の実現に向けた検討を行うこと。
- 2 学校の働き方改革・長時間労働の是正を実現し、教職員が子どもと向き合う時間を確保するために、加配教員の配置増など教職員定数改善を推進すること。またスクール・サポート・スタッフを全校配置すること。
- 3 子どもたちの心に寄り添うための、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの拡充を行うこと。



建設経済常任委員会

【補正予算】

テーマは「忍者」
観光客の新たな誘客手段を検討・開発

国内だけでなく訪日外国人にも人気の高い忍者をテーマとしたコンテンツをつくり、パフォーマンスやニーズ調査を実施することで、持続可能な新たな誘客手段の検討・開発を行う。

問 伊賀・甲賀の忍者と異なり、本市の観光ブランドとしての忍者はまだなじみが薄いと思うが、今回取り上げた理由を伺う。

また観光客の誘客という目的であるならば、既存のブランドや知名度の高いものをPRした方が効果的であると思うが、見解を伺う。

答 本市の歴史・文化コンテンツである忍者の、観光ブランドとしての磨き上げと掘り起こしのため、取り上げたものである。本市でも、忍者は既存のブランドであり、「風魔まつり」等のイベントを実施してきたが、もう一押しするため、新たなコンテンツをつくりたいと考えている。

【補正予算】

二の丸広場のコンクリート塀を撤去
木製の立ち入り防護柵を設置

小田原城址公園二の丸広場に設置されている既存のコンクリート塀は、経年劣化により亀裂等が生じていることから、撤去するとともに、木製の立ち入り防護柵を設置する。

問 木製の立ち入り防護柵を設置するとのことだが、その耐用年数について伺う。

また設置予定の立ち入り防護柵の高さは、以前より低くなるようだが、安全性について伺う。

答 馬出門や銅門あかがねもんの事例から、20年以上の耐用年数があることは確認できている。素材には、耐久性の高いハードウッド材を使用する予定である。高さについては、一般的な転落防護柵は、1.1メートル程度必要だが、安全性を考慮して1.35メートルとした。

「こんな報告もありました」

●新しい働き方に関する協議会等 など



厚生文教常任委員会

【補正予算】

国の登録有形文化財「旧内野醤油店」
歴史的価値を生かした活用を検討

旧内野醤油店を適切に維持・保全し、民間活用により回遊性の向上と地域の活性化を図るため、土地・建物の不動産鑑定および測量を実施する。

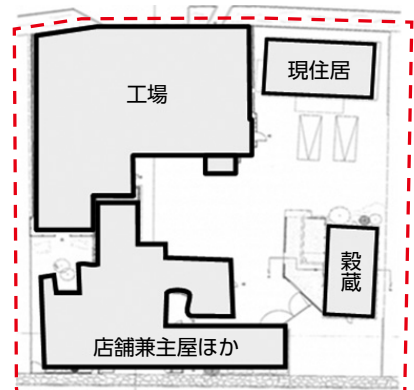
問 不動産鑑定の結果等を踏まえ、旧内野醤油店を公有化となった場合、市民の理解を得られるような利活用の構想について、現在の市の見解を伺う。

答 旧内野醤油店は、邸園文化や板橋地区に残るなりわい文化・職人等の情報発信拠点および交流拠点の施設として、活用を検討してきた。

検討に当たり、民間事業者や地元関係者にもヒアリングをしたところ、宿泊やカフェ、コワーキングスペース等の複合施設といった、さまざまな活用案が挙げられている。



位置図



対象の敷地

総務常任委員会

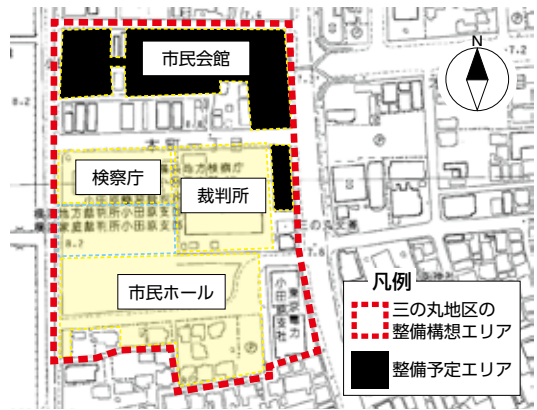


【補正予算】

市民会館跡地等の活用計画 国補助金を財源に作成を委託

「三の丸地区の整備構想（平成30年9月策定）」に位置付けた短期計画の整備に向け、整備予定エリアの活用計画を作成する。また「三の丸地区の整備構想」では観光バスの乗降場や駐車場、広場等の整備をはじめ、城跡にふさわしい活用を検討することを短期計画の整備方針としているが、その後の状況の変化などを踏まえ、整備機能を再検討する。

整備予定エリア



主な委託内容

<p>■基礎調査</p> <p>上位関連計画の整理、土地利用や地区の現況調査</p>	<p>■機能・ニーズ調査</p> <p>市民や来訪者のニーズ調査、民間事業者の参入意向調査</p>
<p>■活用方針の検討</p> <p>導入機能、施設規模等の検討</p>	<p>■実現化方策の検討</p> <p>整備手法、管理運営手法の検討</p>

「こんな報告もありました」
●総合計画審議会のあり方等 など

問 市民会館跡地等の活用に当たり、現時点では、どのようなイメージで整備を進めようと考えているのか。

答 整備予定エリアは、三の丸地区のうち小田原城の正規登城口に面するエリアであるが、コロナ禍の問題、ここ数年の小田原駅、小田原城周辺のハード面での変化も踏まえ、駐車場等の充足率なども把握しながら、最終的な方向性を考えていく。

【補正予算】

生涯現役社会の実現に向け 事業実施主体の協議会へ運営資金を貸付

国では、生涯現役社会の実現に向け、地方自治体が中心となり構成される協議会からの提案に基づき、地域における高齢者の就労促進に資する事業を幅広く実施している。

このたび、実施主体である小田原市生涯現役推進協議会の事業が国に採択されたことに伴い、国から委託費の支払いがあるまでの間、本協議会の運営資金について市が無利子の貸付を行う。

問 協議会の事業内容としては、情報提供等が多いようだが、利用者からは多少なりとも収入を得たいとの声もあると思う。そこで、市の考え方について伺う。

答 当初は、市民活動・ボランティアといったイメージで動き出した部分もあるが、実際には就労に向けた声もかなりある。

事業実施に当たっては、就労に限定するものではないが、シニアの方の声も踏まえ、よりニーズに応えられるような形で支援していきたい。

【補正予算】

伝統工法技術の維持・継承のため 職人育成研修を実施

市の歴史的建造物の修復を通じ、職人を対象とした伝統工法技術の維持・継承のための実践的研修と将来の職人育成に向けて、高校生を対象とした研修を行う。

問 将来の職人を育成する研修については高校生が対象とのことだが、高校生以外は参加できないのか。またこの研修を行ったことで、職人の道に進んだ生徒はいたのか。

答 研修は小田原城北工業高校の授業の一環として実施しているため、対象は高校生のみとなっている。

生徒の進路は、大工・職人を含む建設会社への就職や、専門学校・大学への進学などとなっている。

「こんな報告もありました」
●子育て世代包括支援センター分室の開設 など

未活用の土地や建物
公民連携による活用を

奥山 孝二郎



問 何年も使用していない公共の土地建物等がある。アフターコロナにおける地域経済、本市の財政状況を考えると、市民の利便性を考慮したまちづくりが必要と考えるが、市所有の土地建物等の管理運営に、民間のノウハウを取り入れる考えはないのか伺う。

答 総合計画の基礎となる2030ロードマップでは、公民連携をまちづくりの推進エンジンの一つとして位置付けている。

本市がヒルトン小田原リゾート&スパの従業員宿舎として貸し付けていた「ハイツ寿」の例では、売却に向け、事前にサウンディング型市場調査を行い、民間事業者の意見やニーズを聴取の上、公募要件等の参考としている。今後も民間のノウハウの活用など、公民連携を意識した事業展開に努めていく。

その他の質問

- 小田原・箱根気候変動ワンチーム宣言
- 「世界が憧れるまち“小田原”」の伊豆湘南道路

交通不便地域の交通弱者対策
移動に困らない社会の実現は

楊 隆子



問 自宅からバス停や駅までの距離がある交通不便地域では、生活への支障や外出機会の減少が危惧される。今後は増加する運転免許証を自主返納した高齢者を含め、交通弱者の移動手段の確保に向けたさらなる検討が必要となる。

そこで誰もが移動に困らない社会の実現に向けた市の取り組みを伺う。

答 まずは路線バスを維持・確保していくため、運行経費の一部補助を行うほか、無料乗車券の配布等、商業者やバス事業者との公民連携により利用促進に努めている。また要介護者等を対象に福祉タクシー利用助成事業の実施やNPO法人等が行う福祉有償運送の周知、片浦地区まちづくり委員会が高齢者等を対象に実施の「おでかけサポート」の支援といった交通弱者対策に取り組んでいる。

その他の質問

- 新生児難聴の早期発見・早期療育への取り組み
- 小田原市における男女共同参画社会の推進 など

一般
質問

6月定例会では、20人の議員が一般質問を行い、市政に対する疑問点や将来の展望などについて、市長等の考え方を確認しました。ここではその一部を紹介します。

＜質問一覧はHPで確認できます＞



市職員の定年延長
実施に向けた措置の概要を伺う

川久保 昌彦



問 国家公務員については、60歳から65歳への定年引き上げの関係法令整備が進んでおり、また地方公務員も必要な措置を行うことになるが、年齢による段階的措置、役職定年制度、定年前再任用短時間制度および給与に関する措置、それぞれの概要を伺う。

答 年齢による段階的措置は、令和5年度から定年を現在の60歳から65歳まで2年ごとに1歳ずつ延長するものである。役職定年制度は、原則60歳に達した管理職はその翌年度に管理職以外の職に異動となるものである。定年前再任用短時間制度とは、60歳以後に退職した職員を短時間勤務の職で本来の定年退職日に当たる日まで再任用ができる制度である。給与に関する措置については、60歳を超える職員の給料月額を当分の間、60歳前の7割水準に設定するものである。

その他の質問

- 防災対策
- 新病院建設に伴い検討すべき課題等 など

災害時の広域避難所 女性の視点を取り入れた運営を

角田 真美



ジェンダー平等の推進 「生理の貧困」に積極的に対応を

横田 英司



問 5月7日付神奈川新聞に、災害時の避難所運営リーダーが県下9市町で女性「ゼロ」との記事があり、9市町には小田原市が含まれていた。

トイレに行きづらい、着替える場所がないといった女性行動心理への配慮、妊産婦や乳幼児を抱えた方への対応等、避難所運営には女性の視点の反映が急務であると考えているが、本市の対応を伺う。

答 本市では昨年国が策定した「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」に基づき、「広域避難所運営マニュアル作成のガイドライン」の改訂を行った。

また広域避難所運営委員会には女性委員が含まれている上、複数の女性職員を配備し、広域避難所の運営に当たっている。今後も男性への意識啓発を含め、女性の意見を取り入れられるよう支援していく。

その他の質問

- 郷土資料等の収蔵および活用

問 昨年11月、スコットランド議会在「生理用品を無料提供する法案」を全会一致で可決した。このことは性差による不利益を仕方ないものとせず社会問題として捉え、それを国が補償するというを示したものである。

日本においても「生理の貧困」は、このコロナ禍で社会問題として認識され始めたが、女性たちがより自由な社会活動を実現できる世の中にするために、この問題を貧困と格差の問題としてだけでなく、ジェンダー平等の課題として、本市も積極的に対応すべきと考えるが見解を伺う。

答 「生理の貧困」に対しては、内閣府が女性に対する支援策を拡充しており、本市としても、その動向に注視しつつ、コロナ禍において一部の女性が困難な状況にあるという現実について、的確に対処していきたいと考えている。

その他の質問

- コロナ時代のSDGsの推進
- 中学校の歴史教科書を再度、採択すること など

表面化しにくい「ヤングケアラー」 悩みを抱える当事者の早期発見を

金崎 達



想定される災害の規模と被害 また最悪のシナリオとは

武松 忠



問 家族の世話や介護など本来大人が担うようなケアの責任を引き受けている、一般的に18歳未満の子どもを「ヤングケアラー」と呼ぶが、負担の大きさによる学業や友人関係への支障、就職機会の喪失など深刻な問題が指摘されている。

そこでヤングケアラーの早期発見・把握について市の考えを伺うとともに、子どもたちも含めた社会的認知度の向上に向けた取り組みを伺う。

答 問題の早期発見・把握のためには、まずは支援者がヤングケアラーを意識した、家族全体を支援する視点を持つことが必要と考えている。

ヤングケアラーの認知度向上に向けては、国が令和4年度からの3年間を「集中取組期間」とし、中高生の認知度向上を目指している。また本市でもさまざまな相談機関に対し、研修会等で周知するなど、認知度向上に努めていく。

その他の質問

- 長期化するコロナ禍の市内事業者への支援

問 有識者がまとめた東日本大震災の教訓によると、危機管理と対応計画は、最悪のシナリオに基づいている必要があるとされている。近年、富士山の大噴火や台風による相模湾の高潮の被害想定が示され、富士山ハザードマップの改定も行われているが、本市における地震・津波・噴火・洪水・土砂・高潮等の災害の規模や被害想定、また現在想定されている最悪のシナリオについて伺う。

答 地震では相模トラフ沿いの海溝型地震（西側モデル）をマグニチュード8.7として、1万5千人を超える人的被害、4万棟を超える建物被害が発生すると想定されているが、他の災害では、詳細な被害想定はされていない。台風到達時の地震発生などが最悪のシナリオとなるが、その被害想定は技術的な課題もあり、示されていない現状にある。

その他の質問

- 事前防災の取組状況
- 不確実な状況下での判断と対応

農業従事者や地域住民の悲願
ニホンザルH群の全頭捕獲着手へ

鈴木 和宏



本市出身および本市ゆかりの人物の
発掘と顕彰は

加藤 仁司



問 大窪地区周辺に生息していたニホンザルS群の全頭捕獲が実現した一方で、ここ最近では、早川・片浦地区に生息するH群が活動範囲を広げており、その被害対策が取り上げられている。

去る6月8日開催の総務常任委員会で、H群の全頭捕獲の着手が可能となったとの報告があり、農業従事者や地域住民は停滞していた被害対策の前進を高く評価しているが、本当に重要なのはこれからである。

そこで本市として、H群全頭捕獲を進めるために今後どのような対策を講じていくのか伺う。

答 捕獲を効果的に進めるため、県の専門機関と連携し、H群の最も出没するルート上に、群れ捕獲に最適な大型捕獲檻を設置していく。

また群れから離れたサルに対しては、関係機関の協力の下、箱わな等で捕獲するなど、全頭捕獲へスピード感をもって対応していく。

その他の質問

- 小田原市農業振興計画
- 小田原市公共施設再編基本計画に位置付けられた事業の進捗

問 二宮尊徳翁をはじめ本市の偉人の功績は、郷土文化館の常設展示ガイドで紹介されているが、その他にも偉人と呼べる人物はいるのか。

また先般、本市出身および本市ゆかりの人物として、二人の名前を伺った。一人は本市出身の廣枝音右衛門氏（用語解説あり）で、太平洋戦争中に海軍巡査隊として台湾人部隊を率いた人物である。もう一人は浅羽佐喜太郎氏で、本市で病院を開業し、ベトナム独立運動指導者の潘佩珠氏を支援した人物である。両名を本市は記事等で取り上げたことがあるのか伺う。

答 常設展示ガイドに掲載がない偉人には、荻窪堰を開削した川口廣藏氏、札幌市の都市発展に寄与した大友亀太郎氏、郷土資料の収集保存に尽力した片岡永左衛門氏らがいる。廣枝・浅羽両氏については取り上げた事実は確認できない。

その他の質問

- 選挙の時勢に応じた方策

民間企業で進む地球温暖化対策
本市における今後の展望は

池田 彩乃



問 民間企業ではSDGsや脱炭素化を見据えたビジョンを掲げ、食品等の容器包装の素材の見直しにより資源循環促進やフードロス削減に取り組むほか、カップの素材や形状の見直し、ラベルの簡素化などでプラスチック削減を図るなど具体的なアクションが進められているが、本市は脱炭素化に向けて、今後どのように取り組むのか伺う。

答 脱炭素化に向けては、国の動きを受けて、本市においても地球温暖化対策推進計画の見直しに着手し、国のロードマップに示された施策も取り入れながら、取り組みを加速させていきたい。まずは、地域マイクログリッド（用語解説あり）などの先進的なモデル構築に加え、誰もが脱炭素化に知らず知らずのうちに関わることができるような枠組みの構築に取り組んでいく。

その他の質問

- 広報・広聴の在り方
- 障がい者等の支援

●●用語解説●●

＜廣枝音右衛門（1905～1945）＞

小田原市出身。昭和18年（1943年）に海軍巡査隊の隊長として、多くの台湾人部下と共にフィリピンのマニラに赴任した。昭和20年（1945年）、市街戦が続く中、部下の台湾人達には生きて故郷に帰るよう命令し、自身は自決した。戦後、劉維添さんをはじめとした当時の部下達は、手厚く位牌を弔い、現代に至るまで慰霊祭が行われている。

＜地域マイクログリッド＞

再生可能エネルギー発電設備や蓄電池等を導入し、災害等による大規模停電時には、一般送配電事業者が所有する配電網を活用することで当該エリアに電力を供給し自立運用を行う新たなエネルギーシステム。

家族のため、自分のため エンディングノートの普及啓発は

安野 裕子



本市の鳥獣被害対策 取り組みと実績、今後の展望は

鈴木 美伸



問 2025年には団塊の世代が後期高齢者となり、終末医療の選択にあたり本人の意思確認ができず、医師が対応に困るケースも想定される。そこで自分らしい人生を全うするため、自分の情報や希望をノートに記す、エンディングノートが高齢者の間で話題になっているが、市の取組状況並びに今後の方向性について伺う。

答 誰もが迎える人生の最終段階に備え、高齢者本人が家族や医療・介護の関係者と早い段階で考えを共有できるよう、市では医師等を講師とする終活講座を年1回開催している。この講座では、在宅での看取りの事例紹介や、元気なうちから本人と関係者が話し合う大切さを伝え、そのツールとしてエンディングノートを配布している。今後は終活講座以外の事業でも紹介するなど、一層の普及啓発に努めていきたいと考えている。

その他の質問

- 第6次小田原市総合計画の策定

問 本市の鳥獣被害対策は「小田原市鳥獣被害防止計画」に基づき、関係機関で構成する協議会を中心に取り組んでいると承知しているが、農業生産の現場では、鳥獣被害が軽減されているという実感は希薄である。また鳥獣被害は営農意欲の減退や耕作放棄地の増加要因でもある。

そこで、本市の鳥獣被害対策の取り組みとその実績、今後の被害対策について伺う。

答 鳥獣被害防止対策として、侵入防止柵の設置、わなや銃器による捕獲等を実施している。令和2年度は侵入防止柵を2万8168メートル設置し、イノシシ590頭、ニホンザル5頭、ニホンジカ197頭を捕獲した。被害面積と被害額は減少傾向にあり、これまでの対策が効果的であったと認識している。今後も引き続き、侵入防止柵の設置、わなや銃器による捕獲等を推進していく。

その他の質問

- 災害時の避難
- 小田原市公設水産地方卸売市場の再整備

高齢者へのワクチン接種時期の前倒し 国からの要請への対応は

田中 利恵子



新型コロナウイルス感染症 国のこれまでの対策への評価は

小谷 英次郎



問 菅首相は、本年4月23日の記者会見で、希望する65歳以上の高齢者への新型コロナウイルスワクチン接種について、7月末を念頭に、各自治体が2回の接種を終えることができるよう、政府を挙げて取り組むと表明した。

4月末に、厚生労働省から「新型コロナウイルスの高齢者向け接種の前倒しについて」が通知されているが、本市の対応について伺う。

答 当初は、ワクチンの供給が十分でなかったが、令和3年4月末に国から前倒しの考えが示された後、5月上旬には各市町村へのワクチン供給量が明確に示されたことにより、本市の接種計画においても現実的な見通しを立てることが可能となった。この計画に沿い、本市では接種を希望する高齢者に対して、7月末までに接種を完了できるよう進めている。

その他の質問

- 県立足柄上病院の産科休診、院内助産中止に伴う小田原市立病院との連携・協力の方向性

問 感染症の収束が見られない今、感染拡大を助長したと専門家から指摘されるGoToキャンペーンや、リバウンドの兆候が見える中での緊急事態宣言の解除、先進国の中で最低レベルのワクチン接種率など、国は完全に新型コロナウイルス感染症対策を誤ったと考える。

本市も国に左右されることなく、独自に感染症対策を行う必要があったと考えるが、これまでの国の感染症対策をどう評価しているか伺う。

答 初期の段階においては、未知の新興感染症に対し実施すべき対策が明確ではなく、物資が不足する状況もあったが、国は専門家の提言等を踏まえつつ、これまで水際対策や緊急事態宣言の発令、医療体制の整備など、総力を挙げて新型コロナウイルス感染症を抑えこむための対策を講じているものと認識している。

その他の質問

- 本市の働き方改革
- 県西地域における広域的な課題 など

国府津出張所跡地の活用方法
地区住民からの要望への対応は

神戸 秀典



貧困対策や女性活躍推進の一環として
公共施設トイレへ生理用品の設置を

鈴木 敦子



問 平成29年に策定された小田原市消防署所再整備計画に基づき、国府津出張所が成田出張所に統合移転となり、国府津地区の住民は火災発生時の消火活動に不安を感じている。

令和元年5月に国府津地区の3者（消防団第18分団、自治会連合会、社会福祉協議会）が連名で、国府津出張所跡地に第18分団器具置場の建て替えを求める要望書を提出しているが、この要望にどのように対応していくのか伺う。

答 国府津出張所の跡地は、成田出張所の整備に当たり、消防施設用地とするために一部を廃止した宗沢公園の代替公園の候補地として検討してきた。要望書への対応については、これらの経緯、要望内容を踏まえ、地域住民の意見を丁寧に聞きながら対応していきたいと考えている。

問 生理用品に十分にお金がかからない「生理の貧困」が社会問題となっている中、市民生活に寄りそうサービスの一環として、公共施設トイレに生理用品を設置することは、市のアピールや男女格差について、社会への問題提起となると考えるが、市の見解を伺う。

答 全国の自治体で、コロナ禍の貧困対策として、寄附や備蓄された生理用品を試行的に無償配布する動きがあることは承知している。国でもコロナ禍における女性の健康支援の一つとして対策を拡充してきている。

そうした支援等を契機として、暮らしやすい社会をつくっていくことが求められていると考えている。



その他の質問

- 近年の自然災害対策における消防力の充足
- 公園の整備 など

その他の質問

- 小田原市における性教育
- 公立小中学校におけるICT教育

新たな市立病院の建設
津波被害への対応は

杉山 三郎



老朽化が進む公設水産市場の再整備
官民連携手法の導入も含めて検討を

宮原 元紀



問 東日本大震災から10年が経過したが、津波被害で危惧するのは市立病院への影響である。病院は医療機器が損傷すると、医療機能の停止・崩壊につながりかねないため、新病院の建設に当たり、建設には賛成するものの、現地再建には反対であり、丘陵地での建設を訴え続けてきたところだが、市の見解を伺う。

答 新病院の建設場所である現市立病院敷地は、本市の津波被害が最大とされる「相模トラフ沿いの海溝型地震（西側モデル）」の津波浸水想定において、津波による浸水は想定されていない。その上で患者や医療従事者のアクセス、救急車による患者搬送の迅速性、ヘリポートの設置要件への適合などを踏まえ、現地再建とし、看護師宿舎の解体や事業者選定に着手したところである。

問 本年4月、富山市の富山市公設地方卸売市場では、企業連合が卸売市場と商業施設の建屋をつくり、市は土地を貸す一方で賃料を払い卸売市場を運営するとして官民連携手法により再整備を行うことが明らかになった。これにより同市は、施設を自前で持たず、社会情勢の変化に対応しやすいリスクを抑えた運営ができることとなる。

そこで本市の水産市場の再整備の検討に当たり官民連携手法を導入することについて見解を伺う。

答 多くの公共施設等が老朽化による更新時期を迎える中、国は公的負担の抑制に資するPPPなど官民連携手法導入を推進しており、水産市場再整備でも検討事項の一つと考えている。

民間ならではの豊かな発想により新たな価値の創造が期待でき、魅力的な施設整備につながるとの認識から、導入の可能性について研究を進める。

その他の質問

- コロナ禍での今こそ、2市8町合併は必然と思うが見解を伺う など

その他の質問

- 豚熱（CSF）対策

緑町駅東交差点供用開始後の状況とその対応は

井上 昌彦



県立足柄上病院の産科機能回復と存続を訴えるべきでは

岩田 泰明



問 栄町小八幡線の広小路南交差点から緑町駅東交差点を結ぶ区間が、令和3年3月16日に供用開始となった。緑町駅東交差点の鴨宮方面への右折レーンを多くの車両が直進し、松田方面へ向かう車両と交錯するなど、多くのドライバーが危険を感じている。このことへの市の対応やその後の状況の変化について伺う。

答 市としても供用開始後の状況は確認しており、当面の対策として、直進車両が右折レーンに進入しないよう誘導看板を設置するとともに、継続的に交通量調査を実施している。その結果、平日のピーク1時間あたりの交通量約500台のうち、供用開始直後140台あった誤進入車両が、5月末には5台まで減少してきている。

今後、道路管理者である県や交通管理者である県警本部と連携してさらなる対策を講じていく。

その他の質問

- 歴史的建造物利活用
- 守屋市長公約「地域経済」分野の「おだP A Y」発行

問 歴史的に県西地域は、足柄上と足柄下の二郡で構成されており、その歴史的経緯、地勢等に鑑みれば、県立足柄上病院、小田原市立病院のそれぞれに周産期医療の拠点を持つのが至当である。医師偏在等の解消は県の任務であり、不採算地域・部門への医師の確保は県の役割と考える。

市として県に対し、足柄上病院の常勤産科医の確保による、産科機能の回復と存続を訴える必要があると考えるがいかがか。

答 令和3年3月に「小田原市立病院と県立足柄上病院との連携・協力の方向性」を三者で定めたところであるが、足柄上病院の産科の存続は、県および県立病院機構において、県西構想区域における足柄上地域の医療機関の状況や医療ニーズを踏まえ、判断される。

その他の質問

- 新型コロナウイルス感染症対策
- 「第6次小田原市総合計画」策定 など



令和3年6月定例会 賛否一覧

会 派 名	日本共産党			新生クラブ			公明党				誠 風						志民・維新の会					緑風会						
	25	26	27	22	23	24	5	6	15	16	7	8	9	10	17	18	19	20	1	2	11	12	21	3	4	13	14	
番 号																												
議 員 名	岩田泰明	田中利恵子	横田英司	俵水鋼太郎	清水隆男	小谷英次郎	荒井信一	金崎孝一	奥山隆子	楊隆子	宮原元紀	池田彩乃	大川裕宏	鈴木和典	神戸秀弘	篠原昌彦	井上仁司	加藤裕子	安野裕子	鈴木敦伸	鈴木美三郎	杉山三郎	武松忠	川久保昌彦	角田真美	鈴木紀正	木村正彦	
意見書案第1号 豊かな学びの実現に向けたさらなる教職員定数改善と令和4年度政府予算に係る意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	※	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○

※議長は採決に加わりません
 ・全11件のうち、賛否が分かれた議案のみ掲載しています。
 ・全議案および陳情の賛否については、ホームページでご覧になれます。



○：賛成 ×：反対

陳情の採決結果

件 名	結 果
「国にゆたかな学びの実現にむけたさらなる教職員定数改善と、2022年度政府予算に係る意見書提出」を求める陳情	採 択

議会トピックス

9月定例会の予定

9 / 1 (水)	本会議（第1日目） 提出議案等の説明
9 / 6 (月)	本会議（第2日目） 議案に関する質疑 議会広報広聴常任委員会
9 / 7 (火)	総務常任委員会
9 / 8 (水)	厚生文教常任委員会
9 / 9 (木)	建設経済常任委員会
9 / 15 (水)	本会議（第3日目） 各常任委員長審査結果報告 議案等の採決、一般質問
9 / 16 (木)	本会議（第4日目） 一般質問
9 / 17 (金)	本会議（第5日目） 一般質問
9 / 21 (火)	本会議（第6日目） 一般質問
9 / 22 (水)	本会議（第7日目） 一般質問 決算認定案の説明など 決算特別委員会 議会広報広聴常任委員会
9 / 24 (金)	決算特別委員会（書類審査・一般会計）
9 / 27 (月)	決算特別委員会（書類審査・一般会計・特別会計・企業会計）
9 / 28 (火)	決算特別委員会（現地査察）
10 / 1 (金)	決算特別委員会（総括質疑、採決）
10 / 6 (水)	本会議（第8日目） 決算特別委員長審査結果報告、議案等の採決

9月定例会の一般質問の一部をJ：COMチャンネル（地デジ11ch）で録画放送します。
（放送予定日：9月25日（土）・9月26日（日））

議員表彰

4名の議員が全国市議会議長会から議員在職10年の表彰を受けましたので、令和3年6月2日（水）に、議場において伝達式を執り行いました。



木村 正彦 議員



鈴木 紀雄 議員



鈴木 敦子 議員



井上 昌彦 議員

市議会アンケートご協力のお礼

インターネット調査により、令和3年3月10日から5月31日まで「市議会アンケート」を実施したところ、149人の方から回答をいただきました。この場をお借りしお礼申し上げます。

現在、回答の分析等を行っておりますが、回答者の属性や単純集計の部分についてまとめたものを速報として、市議会ホームページに掲載しています。



編集：議会広報広聴常任委員会
委員長 井上 昌彦 副委員長 角田 真美
委員 鈴木 敦子 荒井 信一 池田 彩乃
清水 隆男 岩田 泰明

発行：小田原市議会 No.158 Tel:0465-33-1761
メール：shigikai@city.odawara.kanagawa.jp

☆次号の議会だより（令和3年11月1日発行予定）は、9月定例会の概要です。